

第1期 倉敷みらい創生戦略 (平成27年度～令和2年度) 実績報告書

令和4年3月31日
企画財政局企画財政部 企画経営室

はじめに

わが国は、平成20(2008)年をピークに人口減少の局面を迎えました。そこで、国においては、平成26(2014)年に、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環をつくり、それを支える「まち」に活力を取り戻す「まち・ひと・しごと創生」の理念のもと、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

こうした地方創生への取組を国と地方が一体となって進めるため、倉敷市では、平成27(2015)年9月に、地方版総合戦略である「倉敷みらい創生戦略」を策定し、「結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち倉敷」「ひとを惹(ひ)きつけるまち倉敷」「働く場を創るまち倉敷」「安心な暮らしを守り、地域をつなぐまち倉敷」の4つの基本目標を掲げました。また、当初の戦略期間は、国にあわせた5か年としていましたが、次期戦略を令和3(2021)年度開始の「倉敷市第七次総合計画」に統合するため、1年延長して令和2(2020)年度までの計画として実施しました。

そしてこの度、令和2年度をもって第1期としての計画期間が終了し、戦略に掲げた「4つの基本目標」と「KPI(重要業績評価指標)」の実績値について検証を行いました。ただし、この最終年度である令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が発出されるなど、外出や活動の自粛により、本市の地方創生を推進する多くの取組が中止、または縮小せざるを得ない状況となったため、実績値にも大きな影響が生じています。こうしたことにより、「4つの基本目標」では全5指標のうち達成が1、未達成が4(うち改善1)となり、「KPI」では全95指標のうち達成が37、未達成が58(うち改善30)となりました。

次の令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第2期倉敷みらい創生戦略では、これまで行ってきた各施策への取組状況や実績等を踏まえて、引き続き世代を超えて暮らし続けたい、未来に向けて暮らししてみたいまちの実現に向けて取組を進めてまいります。

目次

基本目標① 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち倉敷

基本目標の実績値と検証	1
・ 合計特殊出生率	
・ 出生者数	
KPI (重要業績評価指標)	24指標

基本目標② ひとを惹きつけるまち倉敷

基本目標の実績値と検証	7
・ 対三大都市圏との社会増減 (転入者数－転出者数)	
KPI (重要業績評価指標)	30指標 (再掲4)

基本目標③ 働く場を創るまち倉敷

基本目標の実績値と検証	15
・ 市民税納税義務者数 (所得割課税者数)	
KPI (重要業績評価指標)	34指標 (再掲9)

基本目標④ 安心な暮らしを守り、地域をつなぐまち倉敷

基本目標の実績値と検証	23
・ 市の人口 (年度末)	
KPI (重要業績評価指標)	22指標 (再掲2)

基本目標①

結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち倉敷

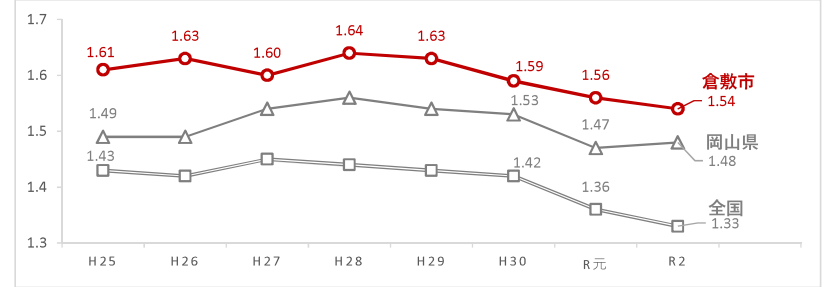
合計特殊出生率

H25※基準値	H26	R2目標値	R2実績値
1.61	1.63	1.77	1.54

数値の推移 ※平成26年の数値は基準値設定時に未公表であったため、前年の数値を使用

H27	H28	H29	H30	R元	R2
1.60	1.64	1.63	1.59	1.56	1.54

資料 保健所保健課



全国・岡山県の数値 | 資料 厚生労働省「人口動態統計」

出生者数

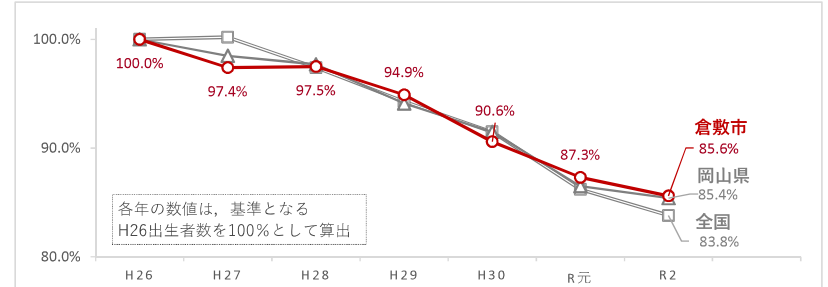
単位：人

H26基準値	R2目標値	R2実績値
4,536	4,782	3,883

数値の推移

H27	H28	H29	H30	R元	R2
4,419	4,423	4,305	4,110	3,960	3,883

資料 総務局総務部総務課「倉敷市統計書」



全国・岡山県の数値 | 資料 厚生労働省「人口動態統計」

基本目標である「合計特殊出生率」は、平成25年の基準値1.61から0.07ポイント減少し、令和2年には1.54となった。また、「出生者数」は、平成26年の基準値4,536人から14.4%減少し、令和2年には3,883人となった。非婚化・晩婚化・晩産化が進む中、どちらの指標も減少傾向が続いているが、本市の合計特殊出生率は、全国平均の1.33や岡山県平均の1.48と比べて高い数値を維持している。

KPI(重要業績評価指標)の実績一覧

ア 希望する人への結婚支援

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値			実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30	
1	高梁川流域婚活推進事業をきっかけに結婚に至った組数(累計)	組	0	10	1	3	5	
2	倉敷結婚相談所を通じた結婚成立数(累計)	組	19	150	42	63	92	

イ 妊娠・出産・子育ての支援と安心確保

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値		実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30
3	妊婦面接の実施者の割合	%	100	100を維持	100	100	100
4	妊婦歯周病検診受診率	%	23.3	41.0	36.2	39.2	40.7
5	倉敷市立市民病院での分娩受入件数(年間)	件	0	300	10	60	106
6	産後ケア延べ利用件数(上段は宿泊型、下段は日帰り型)	件	240 0	350 200	381 155	373 100	339 147
7	乳児把握率	%	97.0	100	99.3	99.4	99.6
8	1歳6か月児健康診査受診率	%	94.2	95台を維持	95.3	96.0	95.6
9	3歳児健康診査受診率	%	90.7	90台を維持	93.2	93.4	94.6
10	保育所等待機児童数	人	180 (H27)	0 (R3)	186 (H29)	125 (H30)	143 (R元)
11	放課後児童クラブの入所児童数	人	4,300 (H27)	6,300 (R3)	4,836 (H29)	4,966 (H30)	5,191 (R元)

ウ 地域や職場における子育て支援

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値		実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30
12	地域子育て支援拠点の親子利用者延べ人数	人	159,000	198,000	192,048	192,844	186,611
13	ファミリー・サポート・センターの子育てを援助したい提供会員の年間活動延べ件数	件	7,187	6,200	6,841	5,890	6,932
14	市立短期大学子育てカレッジの親子交流広場の利用者延べ人数	人	7,356	6,000	6,941	5,576	5,828

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
8	10	達成	※婚活イベントだけでなく、スキルアップセミナーやフォローアップを実施したため。 ※民間団体の婚活イベントをサポートするなど、結婚機運の醸成を図る。	
118	134		※新型コロナウイルス感染症の影響等による登録者数の減少 ※マッチングシステムの導入やサテライトの設置など、結婚支援の充実を図る。	

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
100	100	達成	※妊娠届出時、全員に妊婦面接を実施しているため。 ※今後も継続して取組を実施する。	
45.3	42.6	達成	※歯周病と全身疾患との関連等、知識の向上から行動変容に繋がり、目標値を達成した。 ※周知を強化する。	
113	96		※新型コロナウイルス感染症の拡大による里帰り出産の減少や妊娠の断念・延期等のため。 ※当院で分娩が可能と判断された方を積極的に受入れ、安全を第一に実績を重ねていく。	
321 208	249 246		※新型コロナウイルス感染症の影響で宿泊型は未達成であったが、活用のしやすさから日帰り型は年々増加している。 ※継続して周知を行うとともに、利用対象期間を拡大して実施する。	
95.7	100	達成	※こんにちは赤ちゃん訪問による現認及び関係機関との連携により全員把握している。 ※引き続き全員把握に努める。	
95.7	96.0	達成	※幼児健診未受診児訪問事業を実施し受診勧奨、状況把握を行っている。 ※今後も継続して取組を実施する。	
94.2	94.6	達成	※幼児健診未受診児訪問事業を実施し、受診勧奨や状況把握を行っている。 ※今後も継続して取組を実施する。	
98 (R2)	39 (R3)		※保育の無償化による入所希望者の増加や、特定の地域における保育需要の偏りがあるため。 ※施設整備による受け皿の拡大、保育士の確保等により、引き続き待機児童の減少を図る。	
5,532 (R2)	5,583 (R3)		※新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅勤務等が増加したことが一因と考えられる。 ※今後も必要な施設整備等に取り組んでいく。	

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
187,014	120,616		※新型コロナウイルス感染拡大による臨時閉所やイベント中止のため。 ※今後も継続して取組を実施する。	
6,435	5,481		※新型コロナウイルス感染症の影響で提供会員の活動件数が大幅に制限されたため。 ※感染対策を実施し、現在の取組を継続していく。	
5,758	2,984		※新型コロナウイルス感染症の影響により、閉園も含め活動件数が大幅に制限されたため。 ※感染対策を実施し、現在の取組を継続していく。	

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値		目標値			実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30		
15	就学前児童の父親のうち、育児休業を取得したことがある人の割合	%	4.9 (H25)	15.0	8.2	7.0	7.8		
16	就学前児童の母親のうち、育児休業を取得したことがある人の割合	%	77.6 (H25)	90.0	79.6	79.3	83.3		

エ ワーク・ライフ・バランスの推進

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値		目標値			実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30		
17	ワーク・ライフ・バランス推進セミナー等受講者数(累計)	人	0	650	203	404	461		
18	ワーク・ライフ・バランス推進表彰事業所数(制度開始(H22)からの延べ事業者数)	事業所	6	12	8	9	10		

オ 教育環境の充実

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値		目標値			実績値	
			H26	R2	H28	H29	H30		
19	学習教室「くらすぼ」の利用者数(累計)	人	38	340	119	190	258		
20	学習教室「くらすぼ」の内、高校進学者数(累計)	人	19	150	47	77	111		
21	奨学金の貸付累計件数(累計)	件	84	185	68	63	61		
22	地域連携による学校支援事業実施校数	校	28	71	45	51	58		
23	学校で活動している地域ボランティアの参加延べ人数	人	60,604	270,000	124,210	161,971	194,576		
24	学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの延べ人数	人	174,109	280,000	215,337	246,291	231,300		

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
7.9	9.8		※育児休業の取得や育児休業後の復帰がしづらい職場の雰囲気があるため。 ※育児休業取得や職場復帰しやすい環境づくりに向けた広報・啓発活動を継続して実施する。	
79.3	82.0		※育児休業の取得や育児休業後の復帰がしづらい職場の雰囲気があるため。 ※育児休業取得や職場復帰しやすい環境づくりに向けた広報・啓発活動を継続して実施する。	

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
594	1,168	達成	※多様な働き方への関心の高まりのため。 ※今後も継続して取組を実施する。	
11	11		※コロナ禍による自粛ムードの影響を受けたため。 ※今後も継続して取組を実施する。	

実績値			上段:達成・未達成の要因として考えられること	
R元	R2	結果	下段:今後の取組方針	
363	448	達成	※交流学習の開催もあり、年度をまたいで継続しての利用もあるため。 ※学習面のみならず生活面(生活習慣の改善など)や居場所機能もあり、今後も継続して実施する。	
147	177	達成	※学校、家庭以外の勉強に取り組める場所としての利用があるため。 ※高校への進学は就職に繋がり、貧困の連鎖を断ち切る効果が期待できるため、継続して実施する。	
172	187	達成	※新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に修学が困難な者の増加による。 ※今後も継続して取組を実施する。	
65	71	達成	※地域と学校による協働活動への意識の高まりのため。 ※今後も継続して取組を実施する。	
237,864	201,854		※新型コロナウイルス感染症の影響により、実施事業数の減少に伴い、参加延べ人数も減少したため。 ※今後も継続して取組を実施する。	
269,474	174,002		※新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少したため。 ※今後も継続して取組を実施する。	

KPIについては「高梁川流域婚活推進事業をきっかけに結婚に至った組数」「妊婦面接の実施者の割合」「3歳児健康診査受診率」など、45.8%（11/24指標）が目標を達成した。また、令和2年度未達成のKPIのうち2指標は期間中に目標値に達している。なお、未達成の13指標のうち10指標は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前と比べて数値が下がったため、今後は感染状況を踏まえて事業等の内容を見直ししながら取組を進めていく必要がある。

今後とも、安心して子どもを預けられる環境整備をはじめ、身近に子育ての相談ができる場所の拡大、結婚を希望する人への出会いと交流の場の提供など、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを推進していく。

基本目標② ひとを惹きつけるまち倉敷

対三大都市圏との社会増減（転入者数－転出者数）

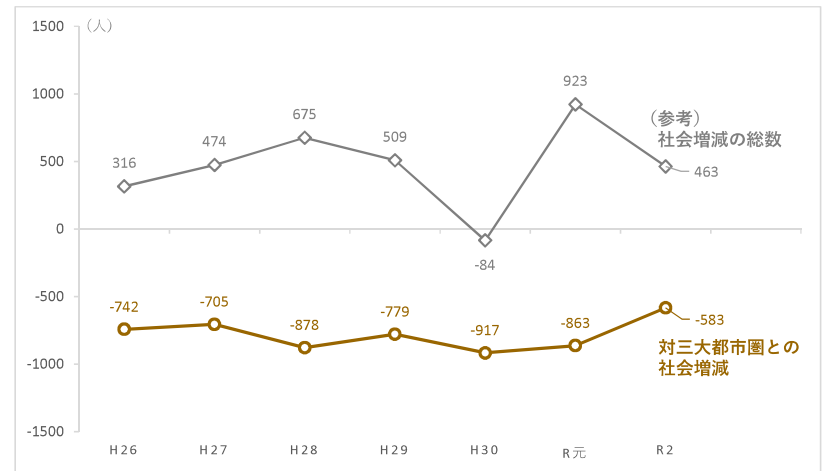
単位：人

H26基準値	R2目標値	R2実績値
▲ 742	±0	▲ 583

数値の推移

H27	H28	H29	H30	R元	R2
▲ 705	▲ 878	▲ 779	▲ 917	▲ 863	▲ 583

資料 総務局総務部総務課「倉敷市統計書」



対全国の数値 | 資料 総務局総務部総務課「倉敷市統計書」

基本目標である「対三大都市圏との社会増減」は、目標の±0には至らなかったが、平成26年の基準値▲742人から159ポイント改善し、令和2年には▲583人となった。なお、対三大都市圏に限定しない「社会増減の総数」は、平成30年7月豪雨災害の影響で一時マイナスに転じたものの、これまでおおむねプラスを維持している。

KPI(重要業績評価指標)の実績一覧

ア 倉敷への移住定住の促進

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
1	移住促進施策を通じた移住世帯数(累計)	世帯	0	80	16	36	61
2	移住希望者用お試し住宅の利用件数(累計)	件	0	400	100	193	273
3	町家・古民家を再生活用した県外からの移住者数(累計)	人	0	18	5	9	12
4	町家(職住一体家屋)再生活用による県外からの移住者による起業数(H27からの累計)	店舗	3	5	1	1	1

イ 豊かな自然と伝統文化の継承

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
5	毎週発行する「くらしき文化」メールマガジン年間延べ購読者数	人	31,925	53,800	36,985	43,956	16,218
6	新たな歴史顕彰施設における年間入場者数	人	0	50,000	0	0	35,000
7	町家・古民家の再生活用による新たな広域集客拠点における年間入場者数	人	0	150,000	0	33,000	140,000
8	日本遺産の認定	件	0	3	1	1	3
9	自然環境に配慮した(スイゲンゼニタナゴ等希少野生生物の生息地保全等)工事件数(累計)	件	20	68	28	31	35

ウ 誘客拡大のための観光力強化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
10	美観地区周辺電線類地中化施工延長	m	2,330	2,650	2,330	2,330	2,330
11	市内の年間宿泊客数(うち外国人観光客数)	千人	1,027 (25)	1,200 (80)	1,003 (52)	986 (66)	992 (77)
12	市内にある主要観光地の年間観光客数	千人	4,752	8,000	5,625	5,432	4,819
13	中心市街地活性化区域内の主要有料観光施設の年間入場者数	人	526,598 (H25)	610,000	565,611	534,666	501,090

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
77	93	達成	※移住就労支援の実施等により、施策を通じた移住世帯数が増えたため。 ※施策の充実により、コロナ禍における地方への関心を本市への移住につなげる。
342	382		※令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で事業を一部中止していた期間があったため。 ※感染収束後に向け、オンラインを活用した情報発信を行い、利用を促進する。
16	16		※地域おこし協力隊の移住を見込んでいたが、一部が移住に繋がらなかったため。 ※地域おこし協力隊の受入を継続し、将来的な移住に繋げる。
1	2		※新型コロナウイルス感染症の影響により、起業希望者が減少したため。 ※倉敷市まちづくり基金等を活用し、移住者による起業を継続して支援する。

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
6,498	11,052		※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが中止となり、広報できなかったため。 ※引き続き情報発信に努め、芸術文化の振興につなげる。
33,000	17,304		※新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が減少したため。 ※歴史や文化、町並み形成等を顕彰する空間の創出を継続して検討する。
160,325	81,004		※令和元年度は目標値を上回ったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が減少したため。 ※倉敷市まちづくり基金等を活用し、新たな広域集客拠点の創出を継続して支援する。
3	3	達成	※当市の豊かで多様な歴史文化の価値が高く評価されたため。 ※認定から6年後に控える更新審査に向けて、今後一層の魅力発信に取り組む。
43	54		※配慮が必要な工事の件数が、想定よりも少なかったため。 ※引き続き、配慮が必要な工事等の情報を工事担当課から収集し、対応する。

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
2,330	2,330		※工事の施行に伴い発生する占用許可物件の移設について、地元との調整に不測の日数を要し、年度内での完了が困難となったため。 ※達成に向けて地元との調整を進める。
939 (76)	621 (8)		※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的な観光需要が減少し、本市の観光客数も減少したため。 ※引き続き、宿泊につながるような滞在時間の延長や夜型コンテンツを検討・実施する。
5,208	2,326		※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的な観光需要が減少したため。 ※引き続き、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、観光振興に取り組む。
550,718	206,947		※新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が激減したため。 ※来街者の滞留時間を増加させる事業を展開し、観光施設の入場者数増加に繋げる。

14	中心市街地内通行量 (休日1日あたり)	人	96,263	120,000	102,388	111,296	149,406
15	新たな歴史顕彰施設における年間入場者数	人	0	50,000	0	0	35,000
16	町家・古民家の再生活用による新たな広域集客 拠点における年間入場者数	人	0	150,000	0	33,000	140,000

116,656	57,440		※新型コロナウイルス感染症の影響により観光客は減少し、地域住民は外出自粛のため。 ※中心市街地への居住や交流を促進し、日常的な賑わいの創出、創出された賑わいの波及を図る。
33,000	17,304	-	※再掲(基本目標②-6)
160,325	81,004	-	※再掲(基本目標②-7)

エ 倉敷の個性と魅力の情報発信力強化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
17	日本遺産の認定	件	0	3	1	1	3
18	新たな歴史顕彰施設における年間入場者数	人	0	50,000	0	0	35,000
19	「クラシキ文華(ぶんか)」サイト訪問者数	人/月	0	5,500	3,028	4,593	5,163
20	官民連携で復活させる新たな特産品の件数 (累計)	件	1	4	0	0	1

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
3	3	-	※再掲(基本目標②-8)
33,000	17,304	-	※再掲(基本目標②-6)
5,598	3,951		※新型コロナウイルス感染拡大に伴う人流抑制が影響したため。 ※アフターコロナを見据えて、メインターゲットに訴求できる特集記事を企画するとともに、タイムリーな情報発信を実施する。
1	1		※復活を想定していた特産品の栽培方法や生産方法等が確立できていないため。 ※地域おこし協力隊等を活用し、引き続き新たな特産品の創出を図る。

オ 政府関係機関及び企業の誘致促進

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
21	市内に移転する政府関係機関数	機関	0	1	0	0	0
22	市内に本社機能等を移転する企業数(累計)	社	0	3	1	1	2
23	代替本社機能を強化する企業数(累計)	社	0	5	0	0	0
24	平成27年度以降の新規立地企業数(累計)	社	0	20	4	8	8
25	平成27年度以降の企業誘致による新規設備投資額(累計)	億円	0	360	45	298	307
26	平成27年度以降の企業誘致による新規雇用者数(累計)	人	0	230	32	77	78
27	設備投資促進奨励金を活用し、一定規模以上の設備投資を実施した企業数(累計)	社	16	112	46	61	88

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
0	0		※本市も申請したが、全国でも文化庁の京都移転のみが実現するにとどまったため。 ※再度、移転の気運が高まったときには、前向きに検討を行う。
3	3	達成	※市の支援(奨励金交付)制度により、企業の本社機能等移転につながったと考える。 ※引き続き本社機能等の移転の支援を行う。
0	0		※企業からの要望がなかったため。 ※頻発する災害等を企業が考慮して、案件が出る可能性があり、引き続き支援を行う。制度内容・PR方法等を随時検討していく。
12	13		※市内の空き用地が少ないため。 ※玉島川に新たな分譲地ができる予定もあり、引き続き企業立地促進のための支援を行う。
326	360	達成	※投資額の大きい案件があったため。 ※玉島川に新たな分譲地ができる予定もあり、引き続き企業立地促進のための支援を行う。
144	153		※新規立地企業数が少なかったため。 ※玉島川に新たな分譲地ができる予定もあり、引き続き企業立地促進のための支援を行う。
116	134	達成	※市の支援(奨励金交付)制度により、市内企業の積極的な設備投資につながったと考える。 ※引き続き設備投資促進のための支援を行う。

カ 地元大学の活性化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
28	市内高等教育機関(大学・短期大学等)卒業生の市内就職者数	人	412	460	409	436	450
29	市立短期大学卒業生の市内就職者数	人	28	36	22	25	32
30	倉敷市役所でのインターンシップ受入人数(累計)	人	26	210	47	115	152

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること
R元	R2		下段:今後の取組方針
428	413		※新型コロナウイルス感染症の影響により、各企業の採用人数等が減少したため。 ※インターンシップや講義等を通じて、倉敷市の魅力をPRする。
27	24		※新型コロナウイルス感染症の影響により、出身地に戻って就職する学生が増加したため。 ※インターンシップや講義等を通じて、倉敷市の魅力をPRする。
189	210	達成	※大学および学生がインターンシップの重要性を認識しているため。 ※インターンシップを希望する学生の要望に応えることができるよう、庁内の受入れ体制を整える。

KPIについては「移住促進施策を通じた移住世帯数」「日本遺産の認定」「市内に本社機能等を移転する企業数」など、23.1%（6/26指標（再掲を除く））の指標が目標を達成した。また、令和2年度未達成のKPIのうち3指標は期間中に目標値に達している。なお、未達成の20指標は新型コロナウイルス感染症の影響（12指標）等による結果であるため、今後は状況の変化に応じて目標値を見直すなど柔軟に対処していく必要がある。

今後とも、先人が築いた伝統文化の継承や町並みの保存、日本遺産を活用した誘客拡大、移住希望者や県内外の大学生への情報発信など、「ひと」を呼び込むための倉敷市の魅力発信や受入環境の整備に取り組んでいく。

基本目標③ 働く場を創るまち倉敷

市民税納税義務者数（所得割課税者数）

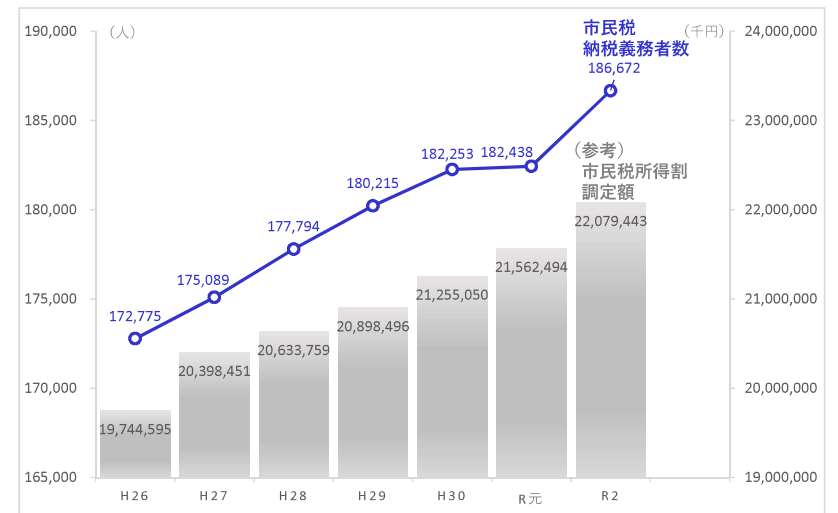
単位：人

H26基準値	R2目標値	R2実績値
172,775	184,300	<u>186,672</u>

数値の推移

H27	H28	H29	H30	R元	R2
175,089	177,794	180,215	182,253	182,438	186,672

資料 市民局税務部「市税概要」



市民税所得割額の数値 | 資料 市民局税務部「市税概要」

基本目標である「市民税納税義務者数」は、緩やかな景気回復※を背景に、平成26年度の基準値172,775人から順調に数値を伸ばし、令和2年度は目標値を2,372人上回る186,672人まで増え、目標を達成した。
 ※内閣府の月例経済報告（令和元年12月）を参照。この時期は、政府や自治体による各種政策の効果もあって雇用・所得環境の改善が続いていた。

KPI(重要業績評価指標)の実績一覧

ア 地域産業の競争力強化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
1	創業サポートセンターを活用した創業件数	件	48	360	224	356	354
2	研究開発助成(倉敷市単独型)を活用し、開発した商品・製品数(累計)	件	4	24	9	12	17
3	研究開発助成(高梁川流域圏域内企業連携型)を活用し、開発された商品数(累計)	件	0	16	10	12	14
4	市内の岡山県6次産業化グループ協議会の会員数	事業者	6	10	6	7	6
5	ふなおワイナリーにおけるマスカットワイン等の生産量	ℓ	12,896	15,000	9,886	12,024	7,505
6	大都市等における特産農林水産物販売促進イベント開催回数(累計)	回	4	24	9	12	14
7	農地の新規利用権の設定面積(更新、付替を含む)	ha	132	160	118	127	140
8	農業生産法人数	団体	10	30	11	16	20
9	漁業者の所得	%	100(H25)	110.6(R1)	118.4(H27)	82.1(H28)	119.6(H29)
10	産業財産権取得助成を活用し、商標権、実用新案権、意匠権、特許権の取得に取り組んだ件数(累計)	件	9	50	26	37	44
11	地域密着型PFIの実施件数(累計)	件	0	3	1	1	1

イ 魅力ある雇用の場の創出

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
12	創業サポートセンターを活用した創業件数	件	48	360	224	356	354
13	相談、セミナー、講演会、助成等による起業・創業者への支援件数	件	863	2,000	1,035	1,770	1,660
14	事業承継補助金活用により事業承継計画などに取り組んだ事業数(累計)	件	0	10	3	5	5
15	町家・古民家再生活用による魅力集客拠点での新規雇用数(累計)	人	0	40	15	20	31

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
353	292		※新型コロナウイルス感染症の流行により、創業者向けセミナーの開催回数が例年より減少したため。 ※コロナ禍でも平時と変わらない支援が行えるよう工夫する。
23	25	達成	※応募件数が予定を下回る際は、追加公募をする等、積極的な案件募集に努めたため。 ※適宜制度を見直ししながら、引き続き研究開発を支援していく。
15	21	達成	※連携企業による連名申請ではなく、単独申請を可とする等、申請しやすさの点から制度の見直しを行ったため。 ※適宜制度を見直ししながら、引き続き商品開発を支援していく。
6	6		※加工・販売まで行うための労働力不足や設備投資が必要となるため。 ※県等の関係機関と連携し、6次化を希望する農業者のサポートや啓発に努める。
11,725	11,088		※ワイン原料のマスカットオブレキサンドリアの生産農家の減少のため。 ※赤ワイン原料の新品種ブドウの作出及び新商品開発、原料生産農家の開拓に努める。
16	16		※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベントを中止したため。 ※継続して販売促進・PRイベントを実施し、産地のブランド力の強化を図る。
144	104		※利用権設定に替え、農地中間管理機構を介する貸借の権利設定が普及してきたため。 ※引き続き持続可能な地域農業を実現するため、担い手への農地の集積・集約化を図る。
39	39	達成	※県等関係機関と連携し、法人化の研修会や相談会等の支援を行ったため。 ※引き続き関係機関と連携し、法人化を希望する農業者のサポートを行う。
133.1(H30)	139.2(R元)	達成	※リ養殖漁業者の所得が増加したため。 ※浜プランの取組を広く漁業者に周知し、継続して実施する。
53	74	達成	※広報誌への掲載、支援機関向け説明会の開催等により、制度周知に努めたため。 ※適宜制度を見直ししながら、引き続き産業財産権の取得を支援していく。
2	3	達成	※倉敷市PFI活用指針に基づき、公共施設の整備等に積極的にPPP/PFIの活用を検討したため。 ※民間の資金・ノウハウの活用が効率的・効果的な事業については、多様なPPP/PFI手法の導入を優先的に検討する。

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
353	292	-	※再掲(基本目標③-1)
4,657	5,989	達成	※新型コロナウイルス感染症収束後の起業の準備を行う者が多くいたため。 ※引き続き関係機関と連携し、起業支援を行う。
6	7		※事業承継の重要性を講演会やセミナーの開催等により周知してきたが、補助金による個別支援にまで至るケースは少ないため。 ※事業者が金融機関の伴走支援を受けながら行う取組を支援する新たな補助金により、実効性を高めた形で支援していく。
35	36		※新型コロナウイルス感染症の影響により、起業希望者が減少したため。 ※倉敷市まちづくり基金等を活用し、移住者による起業を継続して支援する。

16	農業研修生受入数(累計)	人	1	30	9	15	20
17	農林水産業新規就業者数(累計)	人	7	60	11	14	50

25	30	達成	※県・JA・産地等関係機関と連携体制で、啓発・サポート・助成等を行ったため。 ※関係機関と連携し、研修生の受入に努める。
67	81	達成	※県・JA・産地等関係機関と連携体制で、啓発・サポート・助成等を行ったため。 ※関係機関と連携し、新規就業者の確保に努める。

ウ 地元就職の促進

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値		実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
18	市内高等教育機関(大学・短期大学等)卒業生の市内就職者数	人	412	460	409	436	450
19	市立短期大学卒業生の市内就職者数	人	28	36	22	25	32
20	地元開催の就職面接会への参加者数	人	72	100	108	110	59
21	地元開催の就職面接会への参加企業数	社	32	150	86	96	104
22	倉敷市役所でのインターンシップ受入人数(累計)	人	26	210	47	115	152
23	奨学金の貸付累計件数(累計)	件	84	185	68	63	61

R元	実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
	R2			
428	413	-	※再掲(基本目標②-28)	
27	24	-	※再掲(基本目標②-29)	
145	149	達成	※コロナ禍でも感染リスクの無い新たな手法としてWebを利用した説明会を開催したため。 ※地元企業と求職者のマッチング機会を提供するため、今後も実施する。 ※「県外で行う地元への就職説明会への参加者数」から指標等を変更した。	
154	170	達成	※コロナ禍でも感染リスクの無い新たな手法としてWebを利用した説明会を開催したため。 ※地元企業と求職者のマッチング機会を提供するため、今後も実施する。 ※「県外で行う地元への就職説明会への参加者数」から指標等を変更した。	
189	210	-	※再掲(基本目標②-30)	
172	187	-	※再掲(基本目標①-21)	

エ 女性・高齢者・障がいのある方の就業機会の拡大

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値		実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
24	女性起業家・女性経営者の交流会・勉強会支援助成を活用してネットワークを形成した件数(累計)	件	0	5	0	0	1
25	シルバー人材センターの会員数	人	1,431	1,550	1,400	1,419	1,478
26	障がい者就労・生活支援センターが開催する企業合同セミナーへの参加者数	人/年	144	229	195	157	217
27	障がい者就労・生活支援センターを利用した新規就労及び就労収入増加者数(累計)	人/年	102	680	202	343	467
28	生活自立相談支援センターの支援による新規就労及び就労収入増加者数(累計)	人	12 (6か月間)	346	246	386	640
29	創業サポートセンターを活用した創業件数	件	48	360	224	356	354
30	相談、セミナー、講演会、助成等による起業・創業者への支援件数	件	863	2,000	1,035	1,770	1,660

R元	実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
	R2			
3	5	達成	※広報誌への掲載、支援機関向け説明会の開催等により、制度周知に努めたため。 ※適宜制度を見直しながら、引き続き女性の起業を支援していく。	
1,529	1,504		※新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月の新規会員向けの入会説明会を中止したため。 ※広報紙やホームページ、街頭キャンペーン等を活用してPRする。	
175	0		※新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催できなかったため。 ※コロナ禍でも支援が行えるようオンラインでの実施も検討していく。	
540	720	達成	※ハローワーク・福祉サービス事業所との連携に努めたことによるもの。 ※引き続き、関係機関と連携しながら支援を行う。	
327	636	達成	※新型コロナウイルス感染症拡大による雇用状況に悪化に伴い、就労支援対象者数が増えたため。 ※引き続き、就労支援対象者への相談支援を行う。	
353	292	-	※再掲(基本目標③-1)	
4,657	5,989	-	※再掲(基本目標③-13)	

31 保育所待機児童数	人	180 (H27)	0 (R3)	186 (H29)	125 (H30)	143 (R元)
32 放課後児童クラブの入所児童数	人	4,300 (H27)	6300 (R3)	4,836 (H29)	4,966 (H30)	5,191 (R元)

オ 地域活性化のためのICT活用

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
33	ICT人材(データサイエンティスト)育成数 (H27-H30累計)	人	0	46	17	22	46
34	小規模事業者IT活用販売促進助成を活用してE コマース等販路開拓に取り組んだ事業者数 (累計)	件	0	50	59	64	-

98 (R2)	39 (R3)	-	➤再掲(基本目標①-10)
5,532 (R2)	5,583 (R3)	-	➤再掲(基本目標①-11)

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
-	-	達成	➤データサイエンス分野のオンライン講座等を開催することで人材育成を行ったため。(平成30年度で事業終了) ➤移り変わりの激しいICT分野で求められる人材の姿を考え、今後の人材育成の方針を検討していく。
-	-	達成	➤比較的使用しやすい補助制度(自社サイト作成に対する補助)により、集中的に支援を行ったため。(平成29年度で事業終了) ➤コロナにより、ECの重要性は増しており、ECサイト利用に対する支援等を継続していく。

KPIについては「農林水産業新規就業者数」「地元開催の就職面接会への参加者数」「ICT人材(データサイエンティスト)育成数」など、64.0%(16/25指標(再掲を除く))の指標が目標を達成した。コロナ禍の悪影響をWebの活用で克服するなどの取組も見られ、4つの基本目標の中で最も高い達成率となった。

引き続き、地域経済を支える中小企業者の応援や創業者・後継者の育成、農林水産業への就業支援、女性・高齢者・障がいのある方の就業機会の拡大などを通じて、やりがいや生きがいを持って働ける場づくりを進めていく。

基本目標④ 安心な暮らしを守り、地域をつなぐまち倉敷

市の人口（年度末）

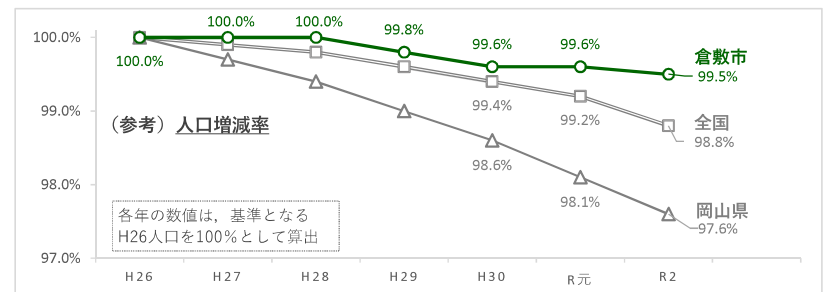
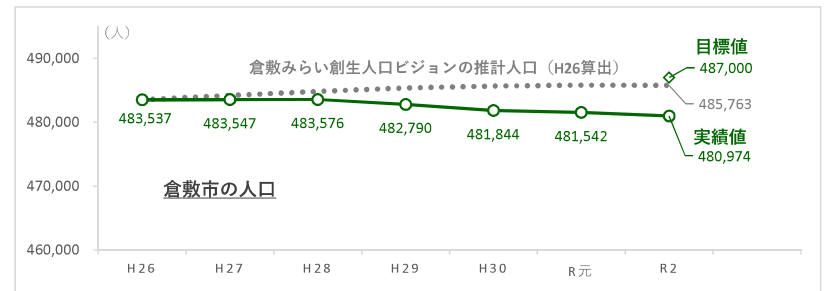
単位：人

H26基準値	R2目標値	R2実績値
483,537	487,000	<u>480,974</u>

数値の推移

H27	H28	H29	H30	R元	R2
483,547	483,576	482,790	481,844	481,542	480,974

資料 総務局総務部総務課



全国・岡山県の数値 | 資料 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

基本目標である「市の人口」は、平成26年の基準値483,537人から2,563人減少し、令和2年には480,974人となった。本市は近年、転入者が転出者を上回る「社会増」を維持しているが、それ以上に死亡者数が出生者数を上回る「自然減」が年々拡大しており、結果として平成28年をピークに人口減少に転じている。また、平成26年を基準とした令和2年の「人口増減率」を見ると、倉敷市は99.5%であり、全国の98.8%に比べてプラス0.7ポイント、県の97.6%に比べてプラス1.9ポイントと比較的緩やかな減少幅で推移している。

KPI(重要業績評価指標)の実績一覧

ア 健康寿命の延伸

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
1	ふれあいサロン参加者数	人	3,183	5,600	3,638	4,411	5,129
2	いきいきポイント制度のボランティア登録者数	人	603	825	637	729	747
3	認知症サポーターキッズ教室参加者数	人	31	540	343	510	352
4	認知症サポーター養成講座受講者数	人	2,706	4,200	3,708	4,530	3,650
5	1日30分以上運動する日が週2日以上ある人の割合	%	37.4	40.0	37.7	38.6	35.6
6	中高年健康・スポーツ教室(健康リーダー養成)への参加者数(累計)	人	0	200	65	86	108

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
5,375	5,633	達成	> 感染対策の徹底、活動内容や方法など具体的な工夫を支援したため。 > 高齢者の健康づくりや介護予防を推進するため、今後も継続して実施する。
735	557		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動が制限されたため。 > 高齢者の社会貢献による介護予防の機会として、継続して実施する。 ※事業(制度)名変更
598	229		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた講座を中止したため。 > 継続して、小学校や中学校に周知し、キッズサポーターの養成に努める。
3,723	1,209		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めて講座を開催することが制限されたため。 > 認知症の人やその家族を理解し、応援するサポーターの養成を継続して実施する。
38.7	38.1		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、ジムやサロン等が休止となり、運動する機会が減少したため。 > 運動習慣定着の必要性及び自宅で行える運動やウォーキングについて普及啓発を行う。
148	148		> 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を中止したため。 > 対象者や教室内容等を見直しつつ、継続して実施する。

イ コンパクトシティの推進と既存ストックのマネジメント強化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
7	中心市街地内通行量(休日1日あたり)	人	96,263	120,000	102,388	111,296	149,406
8	中心市街地居住人口	人	7,983 (H26.10)	8,800	7,839	7,709	7,646
9	児島駅前地区通行量(平日1日あたり) (児島駅前地区都市再生整備計画指標) ※隔年で計測	人	4,345 (H25)	4,800 (R1)	4,511 (H27)	-	4,055 (H29)
10	公共施設等総合管理計画の策定	-	-	H27年度中の策定	策定済	-	-
11	地域密着型PFIの実施件数(累計)	件	0	3	1	1	1

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
116,656	57,440	-	> 再掲(基本目標②-14)
7,524	7,575		> 市街地再開発事業に伴う住宅整備等、居住人口増加に繋がる事業の一部が予定通り進捗しなかったため。 > 新たな住宅整備だけでなく、地域資源を活かしたまちなか居住の推進に引き続き取り組む。
-	2,676 (R1)		> 公共交通を利用した駅前への来街者が増加する見込みであったが、自家用車による来街者が想定より多かったため。 > 児島駅前まちづくり推進協議会を中心に、引き続き、児島駅前中心部の賑わい創出を図る。
-	-	達成	> 平成28年6月に策定した。
2	3	-	> 再掲(基本目標③-11)

ウ 健全で恵み豊かな環境の維持

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
12	水素ステーションの設置箇所数(累計)	箇所	0	2	1	1	1
13	リサイクル率	%	48.4	54.0	51.5	43.0	40.9

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
1	1		> 想定より燃料電池車の民間普及が進まなかったため。 > 脱炭素社会に向けた全国的な取組の動向を見つつ、設置を検討する。
46.0	44.3		> 情報化等の進展に伴い、資源ごみ(紙類)の回収量が減ったため。 > 広報紙・出前講座などにより、市民のリサイクル意識の啓発を図る。

14	エコアクション21の認証・登録事業者数	件	16	50	27	33	33
15	家庭で温暖化対策「グリーンくらしエコアクション」に取り組んでいる人の割合	%	23.2 (H25)	53.0	18.5	16.2	19.4

31	28	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業者が人手不足等の課題を抱えており、十分なメリットを感じていないため。 研修やセミナーの開催により、新規取得者の増加や既取得者の更新継続を図る。
17.4	19.9	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、環境イベント等で啓発ができなかったため。 環境イベント・出前講座等で、リーフレットを配布し、環境に配慮したライフスタイルの普及啓発を図る。

エ 市民や地域と連携した防災力強化

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
16	自主防災組織の結成率	%	56 (H27.8)	75.0	72.0	73.0	73.5
17	倉敷市防災メール登録者数	人	2,098	4,300	2,268	3,991	3,211

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
77.3	77.74 (R3.3)	達成	<ul style="list-style-type: none"> 防災講演会・研修の開催や地域の災害リスクに沿った出前講座の活用を通じ、自主防災組織の結成促進を図ったため。 本市が実施する防災士養成講座を通じ、地域の防災リーダーの育成を図る。また、くらしき防災士の会と連携し、防災意識の普及・啓発を図る。
4,868	4,602 (R3.3)	達成	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けメールについては運用(参集・安否情報)を見直し、登録データを精査したため、登録者数が減少している。 住民向け(自主防災組織及び防災士)メールについて、今後、運用方針の再検討を行う。

オ 高梁川流域連携中枢都市圏構想の推進

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
18	高梁川流域圏域人口(国勢調査)	人	783,035 (H22)	761,893	770,183 (H27)	-	-
19	高梁川流域圏域人口の自然動態	人	▲1,961 (H25)	▲2,114	▲2,339	▲2,777	▲3,311
20	高梁川流域圏域人口の対三大都市圏社会動態(国勢調査)	人	▲2,063 (H22)	±0	▲1,851 (H27)	-	-

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
-	754,749		<ul style="list-style-type: none"> 圏域7市3町のうち、人口増加の市町はあるが、圏域全体では減少数が上回ったため。 持続可能な圏域暮らしの実現に向け、さらなる連携の推進と圏域全体の魅力向上に取り組む。
▲3,288	▲3,423		<ul style="list-style-type: none"> 様々な社会状況の変化に伴う出生数の伸び悩み等のため。 持続可能な圏域暮らしの実現に向け、さらなる連携の推進と圏域全体の魅力向上に取り組む。
-	▲2,729		<ul style="list-style-type: none"> 名古屋圏への転出超過が縮小傾向にある一方で、東京圏・大阪圏への転出超過が拡大しているため 持続可能な圏域暮らしの実現に向け、さらなる連携の推進と圏域全体の魅力向上に取り組む。

カ 地域を誇りに思い、地域を支えたいと思う人材育成

No.	KPI(重要業績評価指標)	単位	基準値	目標値	実績値		
			H26	R2	H28	H29	H30
21	自分の住んでいる地域に魅力があると感じている人の割合	%	34.6 (H25)	51.0	33.0	35.0	35.1
22	コミュニティ協議会活動への参加者数(延べ人数)	人	193,197	230,000	216,249	212,196	181,906

実績値		結果	上段:達成・未達成の要因として考えられること 下段:今後の取組方針
R元	R2		
35.2	35.0		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、魅力創出イベント等、官民の活動が自粛されたため。 新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた魅力創出活動や取組を喚起するとともに支援を継続する。
207,093	126,976		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域での活動を自粛したため。 コミュニティ協議会への支援を継続して実施する。

KPIについては「ふれあいサロン参加者数」「自主防災組織の結成率」など、20.0%（4/20指標（再掲を除く））の指標が目標を達成した。また、令和2年度未達成のKPIのうち2指標は期間中に目標値に達している。なお、未達成の16指標は新型コロナウイルス感染症の影響（7指標）をはじめとする外的要因等が影響しているため、状況の変化に応じて検証と改善を行いながら取組を進める必要がある。

今後とも、高齢者の社会参加の促進、環境への配慮、災害に強いまちづくりなどを通じて安全・安心なくらしを守るとともに、高梁川流域7市3町の一層の連携を図ることにより、圏域全体で成長するための取組を推進していく。